

Arcobacter 属菌の検査法

Campylobacter 食中毒発生時に便検体からカンピロバクター様コロニーを分離していただき、マルチプレックス PCR によって *Arcobacter* 属菌の検出、同定を行う。

1. 対象

Campylobacter 食中毒および *Campylobacter* 食中毒が疑われる患者便

2. 方法

- 1) *Arcobacter* 選択培地を作成する。

組成：Arcobacter broth base	12 g
Bacto agar	7.5 g
蒸留水	500 ml

121°C、15分滅菌後、50°Cに冷却し、CAT supplement を無菌的に1バイアル加えた後、シャーレに分注し、使用する。

- 2) 便を塗抹し、30°C、48時間、好気培養を行う。
- 3) *Campylobacter* 様コロニーを10個選択する。



Arcobacter 属菌のコロニー

- 4) アルカリ熱抽出法もしくは熱抽出法でDNAを抽出し、これをテンプレートとする。
- 5) マルチプレックス PCR (Houf *et al.*、FEMS Microbio. Letter 2000) によって *A. butzleri*、*A. cryaerophilus*、*A. skirrowii* を検出する。

① プライマー

ARCO: CGTATTCACCGTAGCATAGC
BUTZ: CCTGGACTTGACATAGTAAGAATGA
SKIR: GGCGATTTACTGGAACACA
CRY1: TGCTGGAGCGGATAGAAGTA
CRY2: AACAACCTACGTCCTTCGAC

図 12 研究協力機関へ送付予定の *Arcobacter* 属菌
分離プロトコル (1 ページ目)